

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 02



記紀の時代を彷彿とさせる
「松原」の土着民話

民話は「無形の財産」

「民話」を「日本昔ばなし」とイコールとする考え方もありますが、土着民話は、その土地で生まれ育った人たちが、時を超えて土地の話を親から子へ、子から孫へと語り継いで伝えてきたものです。「民話」は、歴史とは異なりますが、「語り」が今の時代に残ったという事実は祖先が心と体で語り伝承してきた「無形の財産」であり、この土地で生きてきた証なのです。

先人の「語り」を そのまま次世代に伝えたい

子どもの頃から民話の採集をしていた加藤さんは、昭和45（19



実家にお足を休めに立ち寄ったお遍路さんのお話を聴き始めたことから「民話」に興味を持ち始めたという加藤孜子さん（68歳）

70）年に松原市に住むようになってから、この松原民話一本に絞った採集をして歩くようになりました。

古代から5つの街道と3つの河川に囲まれた交通の要所であった松原。その民話には、記紀の世界を彷彿とさせるものが多数あり、「人間も神さんも動物もみんな仲良く暮らしていた頃の話ですウ……だから悪いこととしてはアカンのですわ」という語りの「始め」と「終わり」のところが大好きです」と語る加藤さん。

加藤さんの「民話」に対する興味とめどなく広がっていく理由は、「この町に受け継がれてきた先人の語りを歪めることなくそのまま次の世代に受け継ぎたい」という強い気持ちがあるからです。

先人がこの地にどのような暮らし、思いを馳せてきたのかを教えてください。民話を知れば知るほど「松原」を深く愛することができるのです。

1616年フランクが エイガ



「猿の惑星：創世記(ジェネシス)」

一世を風靡した映画「猿の惑星」が登場したのは1968年。それから40年以上が経過して、今ふたたび「猿の惑星」がスクリーンに。「猿の惑星」は5作品がシリーズ化されましたが、いずれも猿が支配してからの話。今回の作品はタイトルが創世記とあるように、このシリーズの原点でもある、どのようにして人類文明が崩壊し、猿が支配者になったかという点を描いているのが観客をひきつけていきます。

サンフランシスコの製薬会社の研究所に勤める化学者ウィルは、開発中のアルツハイマー病の新薬が投与されていた一匹のチンパンジーに驚くべき知能があることを発見しますが、そのチンパンジーは事故で死にますが、その子猿のシーザーが母親の特殊な遺伝子を受け継いでいま

猿が地球を支配するきっかけはここに

た。シーザーはウィルのもとから離れ、猿の保護施設に収容されてしまいましたが、そこで猿のリーダーとして大きく成長していきます。高い知能を駆使し、仲間を引き連れて施設から脱出したシーザーは、人類との壮大な戦いをはじめます…。

とにかく、猿が人間に近くなるとこんな風になるのだろうかと思わせるしぐさと表情のリアルさに驚きます。猿が人間のようなさまざまな感情を持つと、こうなるのかと納得させられてしまいます。それほどリアルな猿の演技は、人間の俳優の演技をコンピュータに組み込んで作りだしたといえます。

今回の映画は、猿が地球を支配する端緒となったいきさつですが、観終わってさらに続編を見たいという気にさせてくれます。

Culture Navi かるチャナビ

平和の種まく人 九条の花を咲かせよう

どけん☆どげん9条の会(大阪府職労)

府職労の土木建築支部と土木現場支部の職員とその家族、そしてOBで活動をしています。今年で結成4年目です。

府職労の「9条の会」で2つの支部が合同しているのはここだけ。意識的に調整して



役員会を開いているからこそ、定期的に続いています。「これからどんな取り組みをしようか」…役員会やその後の飲み会などで、頭にひらめいたどんなアイデアもOK。それをどうしたら実現できるかを考えます。

今年8月6日には「平和が一番！YA9～大阪府

庁9条のつどい」を5月から実行委員会を立ち上げて開催。「YA9(ワイエーナイン)」とは「Yes, Article 9」の略で、「そうだ、9条」という意味。今話題のAKB48風です。当日は110人を超える参加者。第一部は大阪空襲原告団からの語り部を中心に、バンド・コーラス・うたごえ、第二部はお祭りの開幕・けん玉教室・平和何でもトークなど…子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるようにアイデアを出し合い、人のつながりを大事にして実現しました。毎年行っている「戦跡めぐり&BBQツアー」は今年で4回目。今回は渡部会長のガイドで大阪城周辺の戦跡めぐり。「継続は確信なり！」です。

「Yes, Article 9」そうだ、9条！

茶の湯とは湯をわかし茶をたててのむばかりなる本を知るべし

千 利休

「茶の湯なんて、ただ湯を沸かし、茶をたてて、飲むだけのこと。それを決して忘れてはいけない」-「利休百首」の中の一首です。茶の湯の大成者、千利休(1522年～1591年)が茶の作法と茶禅一味(禅は形こそ異なれど、人間形成という本質において同じであるということ)の境地を歌に詠んだものとされます。

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

人の命を愛せない者に 自分の命を愛せるわけはない

吉川 英治

たとえば、おぼれる子どもを見て思わず水に飛び込んで助けようとするのは、人の自然の情けである。他者の苦しみは自らの苦しみであり、ここに他者との一体感がある。もし、おぼれる子どもの苦しみを共感できない人は人間失格であり、人格が破壊された人間に、生命の尊厳が感得できるはずはない-「宮本武蔵」や「新・平家物語」などを著して「国民文学作家」といわれた吉川英治(1892年～1962年)の名言のひとつです。